

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 経営課長 黒田浩喜・施設課長 領家信介 電話番号 0852-22-6645、6642

事務事業の名称	県営電気事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	枯渇のない地域資源を活用した再生可能エネルギー電気の安定供給に努めるとともに、地球環境保全にも寄与する
事業概要	地域資源を活用した再生可能エネルギーによる電気を安定的に供給するため発電施設の効率的な運転と適切な維持管理を実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 供給電力量	目標値		138,769.0	134,125.0	86,225.0	84,726.0	MWh
	取組目標値							
	式・定義 年間供給電力量	実績値	135,202.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,472,041	5,403,413
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

水力：八戸川第二発電所のリニューアル工事による長期停止を行ったため供給電力量は目標に対して85.5%であった。  
 風力：機器故障が多かったこと及び風況が例年に比べ弱かったため供給電力量は目標に対して65.7%であった。  
 太陽光：新規太陽光である江津工業団地太陽光、三隅港工業団地太陽光の運転開始が1ヶ月遅れたため供給電力量は目標に対して94.1%であった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

高野山風力については、ヨーギア装置の改良を行ったこと及び強風時での風車を停止する運転方法見直しを行った結果、ヨーギア損傷故障が減少した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
 風力については供給電力量が目標に達していない。  
 (大峯山 実績/目標：57.4% 高野山 実績/目標：66.7%)

②困っている状況が発生している「原因」  
 風力は長期停止となる大規模な故障が発生し、供給電力量の低下に影響している。また、27年度は風況に恵まれなかった。

③原因を解消するための「課題」  
 故障を防ぐ機器の改良を検討する。  
 故障発生を防ぐ運転方法やメンテナンス方法を検討する。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

故障を防ぐ機器の改良を行う。  
 故障を発生させないための運転方法や予防保全を主体とするメンテナンス方法を検討する。  
 水力のリニューアル工事については計画に沿った円滑な実施を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)